

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 676 号

令和 2 年 2 月 20 日 編集

発 行 所
 公益社団法人 埼玉県獣医師会
 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
 (埼玉県農業共済会館内)
 電 話 048(645)1906
 F A X 048(648)1865
 E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
 URL : http://www.saitama-vma.org/
 振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三 男
 編集責任者 大橋 邦 啓
 印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

令和元年度埼玉県獣医師会新入会員研修会を
 開催…………… 1

令和元年度日本獣医師会獣医学術学会年次大
 会が東京都で開催…………… 3

令和元年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開
 催報告…………… 5

埼玉県獣医師会主催ボウリング大会開催… 8

埼玉県獣医師会の新年会に出席…………… 11

CSF (豚熱) 慰霊式に出席 …………… 12

新入会員報告

新入会員紹介…………… 13

ひろば

さいたま市支部学術講習会開催報告…………… 13

南支部学術講習会開催報告①…………… 14

南支部学術講習会開催報告②…………… 14

西支部学術講習会開催報告…………… 15

北支部学術講習会開催報告…………… 15

お知らせ

埼玉県農林部畜産安全課長からのお知らせ… 16

日本獣医師会からのお知らせ…………… 17

埼玉県獣医師会学術広報版 …………… 18

事務局より

事務局メモ…………… 20

編集後記…………… 21

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

令和元年度 埼玉県獣医師会 新入会員研修会を開催

令和2年1月22日（水）、「埼玉県農業共済会館」において開業部会及び勤務部会両運営委員会による新入会員研修会を開催しました。

午後1時30分から開始された研修会では、全ての新入会員を対象とした全体研修と、開業支部会員のみを対象とした開業支部会員研修が実施されました。



新入会員を前に全体研修会で挨拶する高橋三男会長

1 全体研修会

中村滋副会長の開会の言葉に続き、出席している新入会員の自己紹介と役員の紹介に続き、高橋三男会長から、開業部会の新入会員に対し、動物病院に掲示する「埼玉県獣医師会開業会員証」を交付いたしました。

高橋会長から新入会員に対し、埼玉県獣医師会への入会を祝すとともに激励をする挨拶がありました。

続いて、獣医師定款や倫理などの全般的な内容について次のとおり研修が行われました。特に顧問税理士の間嶋先生には、動物病院での雇用機会が増すなか、社会保険制度や労働基準法などの雇用関係、税務関係、マイナンバー制度、収入印紙などについて講義をお願いいたしました。

- ① 埼玉県獣医師会会員憲章について（大橋邦啓総務委員長）
- ② 埼玉県獣医師会定款・諸規程について（大橋邦啓総務委員長）
- ③ 獣医師のあり方について（中村滋開業部会第1運営委員長）
- ④ 獣医師倫理について（中村滋獣医事調査委員長）
- ⑤ 獣医師関係法令について（岩田信之勤務部会運営委員長）
- ⑥ 雇用・税務関係について（顧問税理士 間嶋順一先生）

2 開業支部会員研修会

午後4時から、開業支部の新入会員のみを対象として、開業獣医師にとって必要な法律手続きや診療業務にあたっての心構え、集合狂犬病予防注射事業の事務手続きなどについて研修が行われました。

- ① 開業獣医師に係る関係法令について（小暮一雄開業部会第2運営委員長）

② 集合狂犬病予防注射の実施について（渋谷正志狂犬病予防委員長）

講義の終了後、午後5時に八木賢裕監事が閉会の言葉を述べて研修会は終了しました。

今回の研修会には、27名の新入会員のうち23名（開業10名、勤務13名）が出席されました。参加者は配布された多くの資料に目を通しながら講義に聞き入り、熱心に受講されていました。



全体研修会に続いて開業支部会員研修会を開催

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">胃腸と皮膚が気になる犬に</p>  <p>Dr. CREDO No.1 成犬用 総合栄養食 1kg・3kg</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">血流と健康が気になる犬に</p>  <p>Dr. CREDO No.2 中・高齢犬用 総合栄養食 1kg</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">下部尿路が気になる成猫に</p>  <p>Dr. IDEA No.1 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成猫の体重管理に</p>  <p>Dr. IDEA No.2 成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)</p>
--	---	--	---

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

令和元年度日本獣医師会獣医学術学会 年次大会が東京都で開催

日本獣医師会主催の令和元年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会が、東京都千代田区で次のとおり開催されました。

日 時 令和2年月2月7日（金）から9日（日）までの
3日間

会 場 東京国際フォーラム

参加登録者 約1,000名



会場全景

1 主なプログラム

(1) 地区学会長賞受賞講演

全国9ブロックの獣医学術地区学会で地区学会長賞を受賞した研究演題が発表されました。各学会での発表演題数などは次のとおりです。

- ア 日本産業動物獣医学会
発表演題数 19題（うち関東・東京合同地区2題）
学会長 佐藤 繁 岩手大学農学部教授
- イ 日本小動物獣医学会
発表演題数 19題（うち関東・東京合同地区2題）
学会長 佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
- ウ 日本獣医公衆衛生学会
発表演題数 11題（うち関東・東京合同地区1題）
学会長 丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

《日本獣医師会獣医学術奨励賞受賞者一覧》

それぞれの学会で獣医学術奨励賞を受賞した講演は次のとおりです。

【産業動物部門】

毛包を用いた免疫ペルオキシダーゼ法による牛ウイルス性下痢ウイルス持続感染牛の簡易検出法
福成和博（岩手県中央家畜保健衛生所）、他

【小動物部門】

動物病院におけるセキセイインコのマクロラブダス症の臨床疫学調査
平野郷子（グリーン鳥の病院）、他

【公衆衛生部門】

養豚場における食肉検査結果の決定要因の主成分分析による解析法
足立泰基（北海道根室保健所）、他

(2) シンポジウム

小動物、産業動物、公衆衛生の各分野をはじめ、幅広い分野で数多くのシンポジウムが開催されました。

(3) 市民公開シンポジウム

市民に公開されたプログラムは以下のとおりでした。

- ア 獣医師の働き方改革、新たなステージへー乗り遅れないためのヒントー
- イ 農場HACCP認証制度とスマート農業・畜産の推進に向けた管理獣医師の役割

ウ CSF（豚コレラ）対策として求められる野生イノシシの生態学的・行動学的知見と防疫対応の考え方

(4) 教育講演・一般口演など

この他、各種の教育講演が行われたほか、各学会の一般口演や展示協賛企業が主催するランチョンセミナーが行われました。

〈本会会員の発表など〉

日本獣医公衆衛生学会の一般口演で、小山正人先生（西支部）が、「埼玉県鳩山町でのアライグマ根絶の取り組み－CPUEを利用した生息数の推定と実際－」について発表しました。

また、諸角元二先生（東支部）は日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」小動物部門の審査協力者として参加されました。

2 歓迎交流会

8日（土）の午後6時から、B棟7階の第1会場において歓迎交流会が開催されました。まず、学会並びに年次大会の主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶したあと、来賓の羽鳥裕日本医師会常任理事から挨拶があり、酒井健夫日本獣医師会顧問の乾杯により懇親に入りました。

歓迎交流会には、全国の獣医師会会員を始め、各学会の運営委員や行政機関の方々などが参加し、和やかな雰囲気のなかで交流を深めておりました。



左から 境政人日本獣医師会副会長・専務理事、宗像俊太郎理事、大橋邦啓理事、諸角元二先生（東支部）、小暮一雄副会長、高橋三男会長、藏内勇夫日本獣医師会長、酒井健夫日本獣医師会顧問、中村滋副会長、林繁雄理事

なお、今後の年次大会の開催予定は、次のとおりです。引き続き、会員の先生方の御協力をお願いします。

令和2年度

開催地 神戸国際会議場・神戸国際展示場（神戸市）

期 日 令和3年1月22日（金）～24日（日）

令和元年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会開催報告

令和2年1月24日（金）午前10時から、さいたま市の「大宮ソニックシティ603会議室」において、令和元年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。

この発表会は、家畜衛生及び家畜管理技術の改善向上に資することを目的に埼玉県農林部が毎年度、開催しているもので、農林部の獣医・畜産関係職員や埼玉県獣医師会等の関係者65名が参加して、県関係機関が実施した事業や調査研究等に関する成果発表と活発な討議が行なわれました。

1 開会

発表会は、伊藤麗子畜産安全課主幹の司会で進行し、根岸章王埼玉県食品安全局長の主催者挨拶に続き、助言講師及び来賓の方々が御紹介されました。助言講師は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 生物学的製剤製造グループの高木道浩グループ長、日生研株式会社 学術・安全管理室 の堤信幸室長、公益社団法人埼玉県獣医師会の高橋三男会長、埼玉県農業技術研究センターの神田徹副所長、埼玉県川越家畜保健衛生所の堀井菜摘子所長、の5名の先生方で、また、来賓として埼玉県獣医師会の中村滋副会長と小暮一雄副会長が出席いたしました。



助言講師と来賓の先生方

前列左から 高橋三男会長、高木道浩動物衛生研究部門グループ長、堤信幸日生研(株)室長
後列左から 小暮一雄副会長、中村滋副会長、堀井菜摘子川越家畜保健衛生所所長、神田徹農業技術研究センター副所長

2 発表・討議

発表は3部で構成され、第1部が「家畜保健衛生所の運営及び家畜保健衛生所の企画推進に関する業務」に関するもので4題の発表がありました。また、第2部の「家畜保健衛生所及び病性鑑定施設における家畜の保健衛生に関する試験及び調査成績」は4題、第3部の「家畜保健衛生所以外の畜産関係機関における試験、研究、調査成績」は1題であり、合計9演題が発表されました。

それぞれの発表終了後には、高橋会長をはじめとする各助言講師から、熱心な質問や助言があり、活発な討議が行なわれました。

3 審査結果発表

発表終了後、別室において助言講師による審査会が行われ、埼玉県代表と埼玉県獣医師会会長賞が選考されました。

審査会が開催されている間に発表会場では、県内で発生したCSF（豚コレラ）の農林水産省の疫学疫学調査チームの調査に参加した中央家畜保健衛生所の多勢景人担当部長がその概要を報告しました。

審査会終了後、助言講師を代表して高木道浩グループ長から、埼玉県代表として関東甲信越ブロック業績発表会で発表される演題の発表と講評がありました。

埼玉県代表演題

第1部

消毒ポイントの運営からみえた課題と対応状況（川越家畜保健衛生所 田代卓也 ほか）

特定家畜伝染病発生時における防疫活動支援業務の概要と課題（川越家畜保健衛生所 成田沙織 ほか）

第2部

肉用牛に発生したユズリハ中毒疑い事例（中央家畜保健衛生所 春山優唯）

続いて、高橋三男埼玉県獣医師会会長が「昨年まさかのCSFの県内発生により、農林支部の先生方を中心に県職員の皆さんには大変過酷な作業をしていただいた。関東地方では初の発生となり、そのステージが変わったことにより、防疫措置もワクチンを使用する方法に変更された。県内でも昨年11月から初回接種が無料で実施され、すべての豚への接種が終了した。就任間もない大野知事には大きな試練であったが、危機管理の専門家としてその手腕をいかに発揮していただいた。本日は大変忙しいなかCSFの対応を4題に分けて、それぞれのご苦勞や問題点が報告されたが、是非ともこの貴重な経験を取りまとめて全国に向けて発信していただきたい。」と挨拶を述べたあと、埼玉県獣医師会会長賞の受賞者を発表しました。



講評と獣医師会会長賞の発表を行う
高橋三男会長

埼玉県獣医師会会長賞受賞演題

第1部

豚コレラ（CSF）発生5農場における埋却方法と課題（熊谷家畜保健衛生所 梶友香 ほか）

第2部

県内動物展示施設で発生したシロフクロウの鳥マラリア（中央家畜保健衛生所 小池絵理子）

第3部

書熱期の乳牛におけるバイパスナイアシン給与効果（農業技術研究センター 大沢玲）

4 表彰及び閉会

審査結果の発表後、関東甲信越ブロック業績発表会への埼玉県代表に選出された3名には丸山盛司畜産安全課長から、また、埼玉県獣医師会会長賞に選出された3名については、高橋三男会長、中村滋副会長及び小暮一雄副会長から表彰状が授与され、午後4時に閉会となりました。



埼玉県代表及び埼玉県獣医師会長賞の受賞者を囲んで

- 前列左から 小池絵理子先生(中央家保)、大澤玲先生(農業技術研究センター)、桐友香先生(熊谷家保)、堤信幸室長、高橋三男会長、高木道浩グループ長、田代卓也先生(川越家保)、成田沙織先生(川越家保)、春山優唯先生(中央家保)
- 後列左から 小暮一雄副会長、中村滋副会長、堀井菜摘子所長、丸山盛司畜産安全課長、神田徹副所長

広告

KMバイオロジクスは 狂犬病の予防啓発に取り組んでいます。

kmb

飼い主の皆さまへ向けて



リーフレット
「狂犬病について考えてみよう」



アニメーション「狂犬病ワクチンを注射しましょう」



製造販売元
KMバイオロジクス株式会社

☎(096)345-6505(営業直通)
☎(03)3443-0177(東京営業所)

KMバイオロジクス株式会社は、2018年7月に「動物用ワクチン」「ヒト用ワクチン」「血漿分画製剤」等の事業を一般財団法人 化学及血清療法研究所から承継いたしました。

KM1902-2

埼玉県獣医師会主催

ボウリング大会の開催

令和2年2月11日（火・祝）、埼玉県獣医師会主催のボウリング大会が、浦和国際ボウル（さいたま市）を会場に52名が参加して開催されました。この大会は、埼玉県獣医師会の福利厚生事業の一環として会員やご家族、賛助会員等の健康増進と親睦を目的に開催し、大会運営には、ボウリング同好会の先生方の御協力をいただき、厚生委員会があたりました。

開会式

厚生委員会の荻久保康司副委員長（西支部）の司会により、午後3時30分から開会式が行われました。

別部博司厚生委員長による開会の言葉、高橋三男会長の挨拶に続き、ご協賛いただいた賛助会員様の紹介、注意事項などの説明があり、高橋会長による始球式により午後4時から競技が開始されました。



開会式



右から 別部博司厚生委員長、荻久保康司副委員長



表彰式で挨拶する高橋三男会長



高橋会長による始球式

各賞を目指して熱戦が繰り広げられる

40名が14レーンに分かれて熱戦を繰り広げました。ボウリング同好会会員以外は、女性は一律、男性は年齢によるハンデキャップを設け、1人2ゲームを投球した合計点で競いました。

競技は厚生委員やボウリング同好会の先生方の円滑な運営により、和やかなうちに進み、各レーンではハイタッチする光景や、笑い声、歓声が響き、楽しいひと時を過ごしていました。

表彰式

午後5時00分から表彰式が行われ、司会者から成績が発表され、高橋会長をはじめ出席した各役員から賞品が授与されました。

鈴木恵美子さん（ご家族）が137、182で合計319とスクラッチでも総合7位の好成績で男性の実力者を抑えて優勝し、高橋会長から賞状、優勝トロフィー、記念品が贈られました。

上位成績				
		スクラッチ	ハンディ	合計
優勝	鈴木恵美子さん(ご家族)	319	100	419
準優勝	新井 宣明先生(さいたま市支部)	382	0	382
3位	島崎 章先生(アクティ(株))	316	60	376
4位	滝沢 直樹先生(さいたま市支部)	367	0	367
5位	布川 昭一先生(さいたま市支部)	365	0	365
ハイゲーム 男子	滝沢 直樹先生(さいたま市支部)	223		
女子	鈴木恵美子さん(ご家族)	182		

5位までの入賞者には賞状と豪華記念品が贈られましたが、特別賞として「ハイゲーム賞（男女別）」、「ブービー賞」、「ブービーメーカー賞」、「飛び賞」が設定され、7位及び10位以降の下一桁が0、1、5の順位の方に飛び賞が贈られました。6位及び8位の方には新井宣明先生（さいたま市支部）とアクティ（株）様から提供されたビール各1ケース、9位、10位、11位の方には高橋会長賞が贈られました。

また、高橋会長が持参された会長特別賞が6位以下の出席者全員と高橋会長のジャンケン大会で勝ち抜いた中村滋副会長と吉川康一先生（さいたま市支部）に贈呈されました。すべての出席者には参加賞として狭山茶が手渡されました。



中村副会長、小暮副会長から
優勝トロフィーの授与



会長特別賞争奪じゃんけん大会

終わりにあたり、中村滋副会長が閉会の言葉を述べ、午後5時30分にボウリング大会は盛会裏のうちに幕を閉じました。多くの方々に参加をいただき中、滞りなく進行し、交流を深めることができました。

厚生委員の先生方と斎藤和也先生を始めとするボウリング同好会の皆様方には、大会の準備や運営にあたりまして、絶大なる御協力をいただき誠にありがとうございました。

また、賛助会員の皆様には、多くの方の参加と沢山の賞品等をご提供いただき厚く御礼申し上げます。さらには、お忙しい中、御参加いただいた先生方、御家族の皆様にご改めて感謝申し上げます。



上位入賞者を囲んで

前列左から 鈴木光郎先生(第7位)、鈴木恵美子さん(優勝・女子ハイスコア)、高橋三男会長、新井宣明先生(準優勝)、島崎章さん(第3位)、滝沢直樹先生(第4位)、布川昭一先生(第5位)
 後列左から 山本慎也厚生委員、石神敬厚生委員、本橋功一厚生委員、荻久保康司厚生副委員長、高橋一成さいたま市支部長、小暮一雄副会長、中村滋副会長、別部博司厚生委員長、大橋邦啓北支部長、川辺貴久厚生委員、山中利之監事、林繁雄理事

広告

Allerimmuné

《世界初》
 犬アトピー性皮膚炎治療は次世代へ。



動物用医薬品 劇 要指示

アレルミューン® HDM

アレルミューンHDMの特長

- 1 世界初、犬アトピー性皮膚炎の主要アレルゲン Der f 2抗原を使用した次世代減感療法薬**
遺伝子組換え技術を用いて作製、精製した単一抗原に中性単純多糖であるプルランを結合した、次世代減感療法薬。
- 2 組換え型Der f 2-プルラン結合体により、有効性と安全性の向上を実現**
組換え型Der f 2にプルランを結合させることにより、IgE抗体産生抑制とIgG抗体産生増強を確認。
- 3 臨床試験において、高い有効性と安全性を確認**
臨床試験では臨床症状の改善が認められるとともに、アナフィラキシーショックなど重篤な副作用は観察されず、有効性及び安全性を確認。
- 4 簡便な投薬プログラムにより、高い利便性を実現**
週1回、計5回ないし6回投与というプロトコルで、従来の減感療法における、頻回投与、長期治療という煩雑さを克服。



製造販売元
 日本全薬工業株式会社
 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

埼玉県医師会の新年会に出席

令和2年2月1日（土）午後6時から、パレスホテル大宮で開催された第5回埼玉県医師会新年会「2020新春の集い」に高橋三男埼玉県獣医師会会長が来賓として招待され、参加いたしました。

新年会には、国会議員や県議会議員、市町村長など多くのご来賓が招かれるなか、医師会会員をはじめ医療関連団体など570名を越す方々が出席しました。

主催者の金井忠男埼玉県医師会長の挨拶と来賓代表の大野元裕埼玉県知事、中川俊男日本医師会副会長の挨拶などに続いて行われた「鏡開き」には高橋会長も登壇されるなど、盛大な新年会となりました。



鏡開きには高橋三男会長が登壇

左の樽 左から1人おいて 大野元裕知事、金井忠男埼玉県医師会長

右の樽 左端 高橋三男会長

狂犬病や高病原性鳥インフルエンザをはじめとする多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や、食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められ、平成25年12月に「公益社団法人日本医師会と公益社団法人日本獣医師会の学術協力に関する協定書」が締結され、翌年10月には「一般社団法人埼玉県医師会と公益社団法人埼玉県獣医師会の学術協力の推進に関する協定書」を締結しました。その後、全国47都道府県の獣医師会が同様の協定を締結しています。

また、平成28年11月には第2回世界獣医師会—世界医師会“One Health”に関する国際会議が福岡県北九州市内で開催されるなど、獣医師会と医師会の連携が益々強まる中、埼玉県医師会や関連団体との交流を深めることができました。

CSF(豚熱)慰霊式に出席

昨年、埼玉県で発生したCSF（豚熱）では、残念ながら約7,600頭の豚が本来の役割を果たすことなく命を失いました。これらの豚たちの御霊にお祈りし、感謝と畏敬の念をささげるため、発生地域を管轄する熊谷家畜保健衛生所で慰霊式が下記のとおり開催され、大野元裕知事、神尾高善県議会議長とともに高橋三男会長も出席しました。

記

- 1 日時 令和元年12月22日（日）11：00～11：30
- 2 場所 埼玉県熊谷家畜保健衛生所 動物慰霊碑前
- 3 主催 埼玉県養豚協会



熊谷家畜保健衛生所の動物慰霊碑前で開催



前列左から 高橋三男会長、若林龍司 J A 埼玉県中央会会長、大野元裕知事、神尾高善県議会議長、新井豪県議会副議長、齊藤邦明県議会議員、飯塚俊彦県議会議員、小川真一郎県議会議員、江原久美子県議会議員

新入会員報告

新 入 会 員



おざわ けんいち
小澤 賢一
団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
団体	小 澤 賢 一	宮代町・東武レジャー企画株式会社

ひろば

さいたま市支部学術講習会開催報告

さいたま市支部長 高橋 一成
学術委員 林津 陽平

さいたま市支部では、令和2年1月26日（日）にどうぶつの総合病院麻酔科・外科主任 米国獣医麻酔疼痛管理専門医の浅川誠先生をお招きして、「麻酔を基礎からもう一度考えよう」と題した学術講習会を開催いたしました。

今回の講習会では、麻酔に用いる薬剤の特徴や使用に際して注意すべき点、麻酔モニタリングの解釈方法、症例に基づいた麻酔中のトラブルへの対処方法などについて、麻酔シミュレーターを用いて詳細に解説いただきました。

大変充実した内容の、有意義な講習会となりました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	東支部	団体支部
42名	30名	2名	7名	3名

南支部学術講習会開催報告①

南支部長 宗像 俊太郎
 学術委員 松尾 英治

南支部では、1月19日（日）さいたま共済会館にて南支部学術講習会を開催しました。日本小動物医療センターの小林哲也先生をお招きし、「臨床医が臨床医に伝える臨床医のためのがんの診断学」という演題でご講演いただきました。

大学でもほとんど教わることのない診断学というテーマでした。忙しい日常で自分自身どうスキルアップするか、勤務医・後輩をどう指導していくかということに通じる生きた知識をお話頂きました。同日南支部の新年会も開催され講師の小林先生にもご参加いただきました。講師の小林先生ならびにご参加いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	衛生支部	団体支部	会員外
69名	12名	32名	1名	2名	6名	1名	9名	6名

南支部学術講習会開催報告②

南支部長 宗像 俊太郎
 学術委員 松尾 英治

南支部では、2月2日（日）に聖マリアンナ医科大学 大学病院副院長 救急医学教授 平泰彦先生に「救急蘇生法と聖マリアンナ医大救急救命センターの紹介」、同大学 大学病院長 小児外科教授 北川博昭先生に「人間にはない勤務犬の魅力」の2本立てで学術講習会を開催しました。

平先生には人医における救命処置のガイドラインの変遷や最新情報を、北川先生には我々犬を扱う獣医師も知らない病院に勤めている「勤務犬」の活躍およびその治療への効果などを教えていただきました。なかなか聞くことができない貴重な講演で、時間が過ぎるのが早く感じられる有意義な講習会でした。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	衛生支部	農林支部	団体支部	会員外
24名	3名	17名	1名	1名	1名	1名	0名

西支部学術講習会開催報告

西支部長 別部 博司
 学術委員 岡田 かおり

1月26日（日）『川越南文化会館 ジョイフル』にて西支部学術講習会を開催いたしました。大野耕一先生（東京大学 獣医内科学研究室）をお招きし、『慢性腸症と蛋白喪失性腸症 Basics & Update』という演題でご講演いただきました。

日常の診療で頻繁に遭遇する慢性下痢に対する診断アプローチのポイントやIBD、リンパ腫や蛋白喪失性腸症の考え方、食事療法について詳細にお話頂き、慢性下痢に対する考え方を再整理することができました。講師の大野先生と講習会にご参加頂いた先生方に心より感謝申し上げます。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
34名	1名	2名	24名	1名	1名	3名	2名

北支部学術講習会開催報告

北支部長 大橋 邦啓
 学術委員 高野 宜彦

北支部では、2月2日（日）に札幌夜間動物病院の遠藤雄介先生をお招きして、「疾患別の麻酔モニタリングで注意すること」と題した学術講習会を行いました。

消化器疾患や僧帽弁閉鎖不全症で注意すべき麻酔のポイントをご解説頂き、明日からの外科手術で、すぐに応用できる内容でした。質疑応答も活発に行われ、大変有意義な講習会でした。

<参加者内訳>

出席者	北支部	さいたま市支部	南支部	西支部	東支部	農林支部	会員外
24名	18名	0名	0名	0名	0名	1名	5名

お知らせ

畜安第921-3号
令和2年2月5日

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課
課長 丸山 盛司 (公印省略)

「アフリカ豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置の実施に当たっての留意事項について」の全部改正について (通知)

日頃より、家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、アフリカ豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針については、別添のとおり全部変更した旨公表されました (令和2年2月5日付け官報号外特第7号)。

これに伴い、標記について同日付け元消安第5020号により農林水産省消費安全局長から通知がありましたので御了知いただくとともに、貴会会員への周知及び本病の発生予防及びまん延防止措置等への御協力をよろしくお願いいたします。

記

全部改正の概要

- 1 構成
 - ・豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針の構成に準拠した。
 - ・同指針の準用規程を全て明文化した。
- 2 家畜伝染病予防法の改正に基づく改正
 - ・アフリカ豚コレラをアフリカ豚熱に改めた。
 - ・予防的殺処分を規定した。

※別添省略

畜安第922-3号
令和2年2月5日

公益社団法人埼玉県獣医師会
会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課
課長 丸山 盛司 (公印省略)

「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づく発生予防及びまん延防止措置の実施に当たっての留意事項について」の全部改正について (通知)

日頃より、家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針については、別添のとおり全部変更した旨公表されました（令和2年2月5日付け官報号外特第7号）。

これに伴い、標記について同日付け元消安第5021号により農林水産省消費安全局長から通知がありましたので御了知いただくとともに、貴会会員への周知及び本病の発生予防及びまん延防止措置等への御協力をよろしくお願いいたします。

記

全部改正の概要

- 1 家畜伝染病予防法改正に基づく改正
 - ・豚コレラを豚熱に改めた。
 - ・豚コレラ診断マニュアルのうち、RT-PCRの検査手法
- 2 その他、所要の修正

※別添省略

元日獣発第271号

令和2年1月22日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

食品廃棄物等を原材料とする飼料を給与する場合の加熱処理等の徹底について

このことについて、令和2年1月14日付け元消安第4495号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、沖縄県において継続的に確認されているCSFの発生に関し、拡大CSF疫学調査チームが発生農場の現地調査を行ったところ、農場で加熱せずに食品残渣を使用しており、感染源として否定できない事例が確認されていることを受けて、動物由来品を含む食品廃棄物等を原材料とする飼料を豚及びいのししに給与する場合の留意事項について、その遵守を徹底するよう周知、指導等の協力を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

令和元年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和2年2月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月14日(金) ～16日(日)	第98回日本獣医麻酔外科学会/第110回日本獣医循環器学会/第65回日本獣医画像診断学会 2019春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月15日 (月・祝)		東支部 「ふだんは治療がうまくいくけど、たまに 痛い目に遭うことがある犬の肥満細胞腫 アップデート」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
8月			
9月1日(日)		北支部 「僧房弁閉鎖不全症～エビデンスでみる内 科から外科への移行のタイミング～」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
9月1日(日)		東支部 「麻酔学；周術期のモニタリング」 日本獣医生命科学大学 神野 信夫 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月6日(日)		北支部 「周術期の麻酔モニタリング」 札幌夜間動物病院 遠藤雄介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
10月18日(金)	北支部 「AMRを考える 産業動物診療 を基礎から見直そう！正しい薬 の使い方について」 麻布大学 佐藤 礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所) →延期		
10月20日(日)		西支部 「腎泌尿器疾患で押さえておきたい7つのこと」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月27日(日)	2019年度 関東・東京合同地区獣医師大会(千葉)獣医学術関東・東京合同地区学会 (千葉市 幕張メッセ)		
11月4日 (月・祝)		南支部 「疑問を徹底解説～新ACVIM新ガイドライ ン2019～」 近畿動物医療研修センター附属動物病院 森拓也 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
11月24日(日)		西支部 「眼科の緊急疾患～角膜疾患と緑内障」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月8日(日)		東支部 「内分泌学；犬のクッシング症候群とアジソン病」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
12月15日(日)		北支部 「心筋症だけじゃない猫の心臓病」 宮崎大学 中村 健介 先生 (深谷市 深谷男女共同参画推進センター)	
令和2年 1月19日(日)		南支部 「臨床医が臨床医に伝える臨床医のための がんの診断学」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (さいたま市 さいたま共済会館)	
1月24日(金)	農林支部 令和元年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
1月26日(日)		さいたま市支部 「麻酔学を基礎からもう一度考えよう」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (さいたま市 ホテルプリランテ武蔵野)	
1月26日(日)		西支部 「慢性腸症と蛋白喪失性腸症」 東京大学 大野 耕一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月2日(日)		南支部 「人間にはない勤務犬の魅力 および 救急蘇 生法と聖マリアンナ医大救急救命センター の紹介」 聖マリアンナ医科大学 北川 博昭 先生・平泰彦 先生 (さいたま市 貸会議室6F)	
2月2日(日)		北支部 「疾患別の麻酔モニタリングで注意すること」 札幌夜間動物病院 遠藤 雄介 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
2月7日(金) ～9日(日)	2019年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(東京) (東京国際フォーラム)		
2月16日(日)		西支部 「猫によくみられる問題行動」 日本獣医生命科学大学 水越 美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月20日(木)			衛生支部 食肉衛生技術研修会 (さいたま市 県食肉 衛生検査センター)
3月15日(日)		さいたま市支部 「局所・領域麻酔法～神経ブロック癌性疼 痛への対応～本当の緩和療法を行う！」 どうぶつの総合病院 浅川 誠 先生 (さいたま市 埼玉会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|-----------|-------------------------------------|-----------|--|
| 2月11日 | ボウリング大会（さいたま市 浦和国際ボウル） | 3月8日 | 日本獣医師会小動物臨床講習会（千葉県千葉市 TKPガーデンシティ千葉） |
| 2月16日 | 西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館） | 3月8日 | 横浜市獣医師会市民フォーラム（横浜市 横浜市社会福祉センター） |
| 2月16日 | 第3回関東・東京合同地区監査会・理事会（千葉県千葉市 東天紅） | 3月13日 | 第4回狂犬病予防委員会、第2回班長会議（さいたま市 清水園） |
| 2月19日 | 集合狂犬病予防注射関係資材売買契約会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 3月15日 | さいたま市支部学術講習会（さいたま市 埼玉会館） |
| 2月20日 | 埼玉県オーエスキー病防疫協議会（さいたま市 さいたま共済会館） | 3月17日 | 第3回総務委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 2月20日 | 食肉衛生技術研修会（さいたま市 県食肉衛生検査センター） | 3月25日 | 第6回、第7回理事会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） |
| 2月21日～23日 | 第16回日本獣医内科学アカデミー学術大会（横浜市 パシフィコ横浜） | 9月6日 | 関東・東京合同地区獣医師大会（栃木県栃木市 栃木総合文化センター） |
| 2月27日 | 第1回開業部会第2運営委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | 令和3年 | |
| 3月1日 | 日本獣医師会小動物臨床講習会（東京都渋谷区 AP渋谷道玄坂） | 1月22日～24日 | 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（神戸市 神戸国際会議場・展示場） |
| 3月2日 | 第2回畜産懇話会・畜産会第2回理事会（熊谷市 ホテルヘリテイジ） | | |
| 3月6日 | 第1回開業部会第1運営委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館） | | |

編集後記

国立天文台によると今年の立春は2月4日、雨水は19日、啓蟄は3月5日だそうです。今冬は、暖冬で季節感を感じずともなく2月になってしまいました。しかし、立春を迎え節分の行事に身を置くとやはり春を実感することとなりました。春の陽気と猫の恋の季節を詠んだ一茶の句に、

『寝て起きて 大あくびして 猫の恋』と、あります。春の陽気に誘われて昼寝をしていた猫も、たつぷりと英気を養い大きなあくびをして、体を伸ばし『さあこれから恋人に会いに行くか』と心の中で叫んでいる様子が見えます。獣医さんとしては、恋敵と遭っても怪我しないで帰ってこいよとひと声かけてやりたい状況です。近頃は猫のレトロウイルス感染症対策として、家から一步も出さない飼いをする人々が増えたので、一昔前のような喧嘩のあとの膿瘍治療が減少しています。このことは猫や飼い主にとって喜ばしいことではありますが、街の風景の一つであった塙の上、屋根の上の猫が見えなくなったのは、風景としては少しさみしい気がします。

閑話休題、CSF（豚熱）がワクチン接種により終息している時に、世間は新型コロナウイルス感染症で大変です。クルーズ船関連の防疫措置を我が国とオーストラリアやUSAを比較してみた時、国家の役割に対する彼我の差を感じます。客観的に見れば、クルーズ船内は汚染地域であり、下船した人々は隔離した上での検疫を受けなければ、保菌者となって感染源となります。従って、オーストラリアやUSAは帰国後、空軍基地や本国から距離を置いた隔離された施設で個別に2週間の検疫を強制されました。我が国は、本県での発生例を見て理解できるように、汚染地域である武漢からの帰国者でありながらも、帰国時のウイルスチェックで陰性ならば、2週間の拘留検疫はありませんでした。そ

の結果、帰国後発病し同居している御子息にまで感染を広げてしまいました。

国民の経済活動が支障なく行えるように環境整備することは、国家の重要な任務です。感染症の防疫対策は、ひとたび誤れば国民の生命財産を危機的状況に貶めることとなります。CSF（豚熱）ウイルスは水際での防疫措置をかいくぐって国内に侵入し、「飼養衛生管理基準を遵守すること」では感染を阻止することはできませんでした。

厚労省は水際での防疫措置を誤り、感染症の侵入を看過しました。1億3千万人の国民の生命財産を守るためには、事件発覚後の中国からの帰国者は全て例外なく2週間隔離施設での厳重な検疫がなされるべきでした。私権が公共の福祉のために制限されるのは当然のことであり、USAではクルーズ船からの帰国者は有無を言わず軍施設に隔離し検疫を実施しています。その結果現在のところ感染拡大を阻止しているようです。我が国は、国家の為すべきこともせずに、医療体制も十分に提供せずに、国民に自らの命は自ら守れと号令をかけています。

先の大戦では、大正~昭和初期の生まれの我々の父や祖父の代の人々が国家国民を守るために命を犠牲にしました。国家は敗れはしたものの、その犠牲を土台にして我が国は再建されました。現在その再建された国家が再び国民を守れず、危機に瀕しています。我々ひとりひとりの国民の意識改革以外に国家再建の方策はありません。

荀子は『君なるものは舟なり、庶人なるものは水なり、水は即ち舟を載せ、水は即ち舟を覆す』と述べています。君主が善政を布けば庶民は穏やかに載せいただくが、悪政を行えば波立ち転覆させるとの意味だそうです。心して2月号の会報をお届けいたします。（初雁）



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

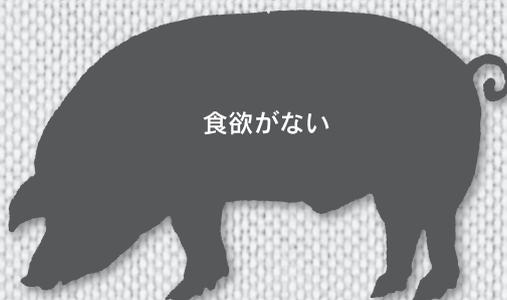
わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564



日本獣医師会・獣医師会活動指針

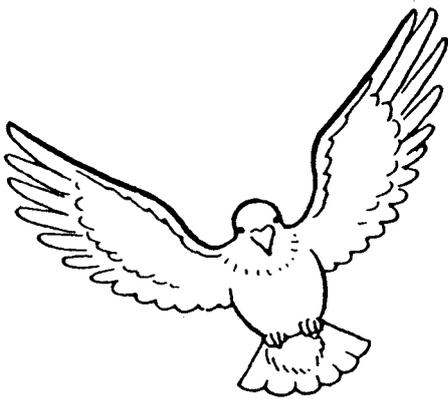
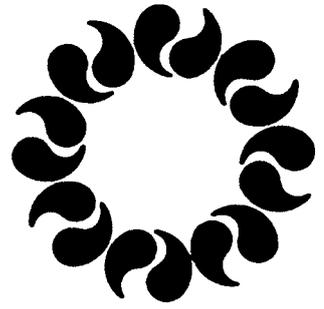
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

